

スポーツ政策の推進に関する円卓会議(第10回) JSC関連事業報告

2024年3月29日

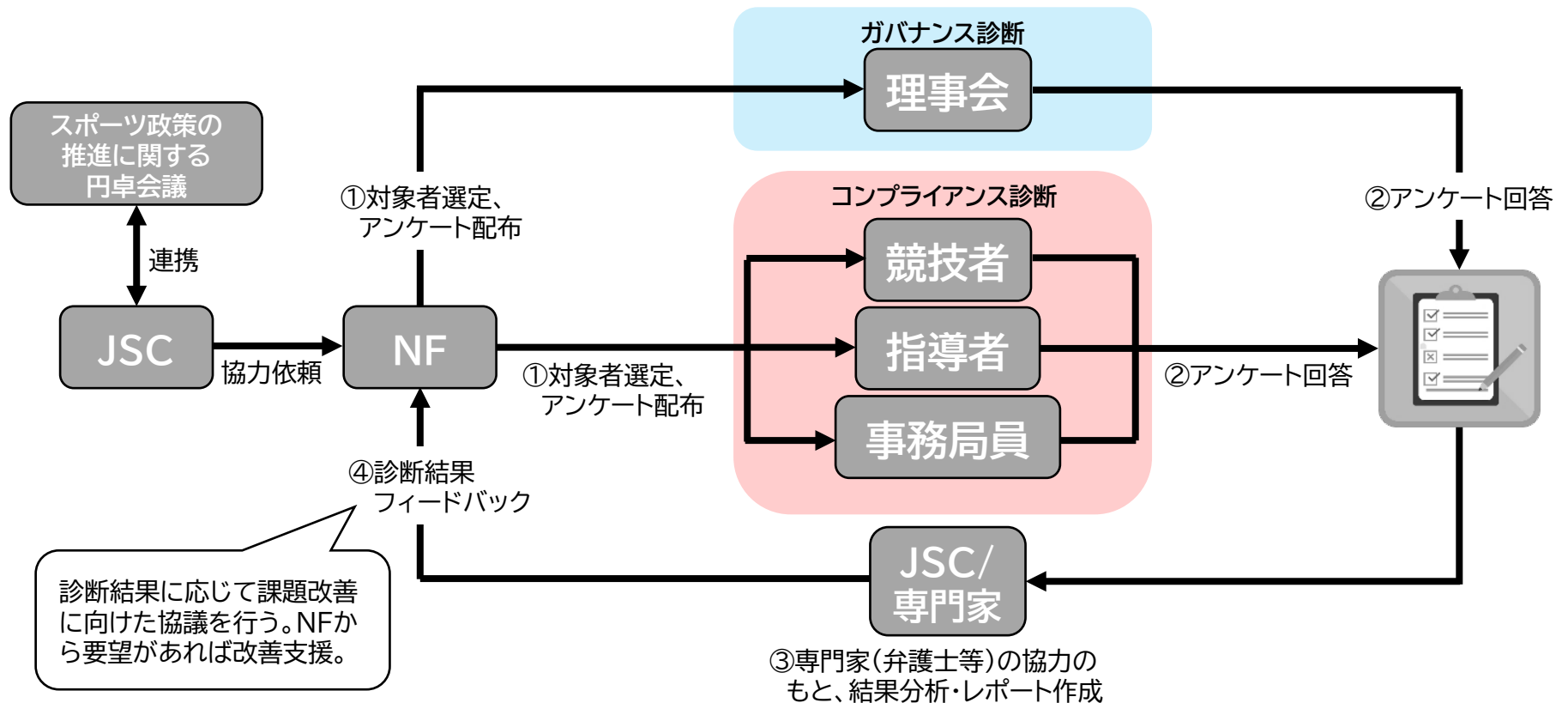
独立行政法人日本スポーツ振興センター
スポーツ・インテグリティ・ユニット

中央競技団体のガバナンス・コンプライアンス診断（モニタリング）

「スポーツ・インテグリティの確保に向けたアクションプラン」(2018年12月、スポーツ庁)

(5) 中央競技団体に対するモニタリングの実施

○JSCは、中央競技団体のガバナンスやコンプライアンスの状況の改善に資するよう、2019年度以降、円卓会議と連携し、モニタリングを着実に実施するとともに、その結果を円卓会議に報告してJSPO、JOC及びJPSAと共有する。



目的: 中央競技団体のガバナンス又はコンプライアンスに関する現況評価を行い、より良い団体運営の推進を支援する
 方法: 対象者にアンケートを送付し、回答結果をJSCで集計・分析し、NFにフィードバックする
 対象: (ガバナンス)理事会構成員、(コンプライアンス)競技者、指導者、事務局員

ガバナンス・コンプライアンス診断実施団体 (2023年度)

ガバナンス診断	公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会 一般社団法人日本ゴールボール協会 一般社団法人日本パラ射撃連盟
コンプライアンス診断	公益社団法人日本フェンシング協会 公益財団法人全日本スキー連盟 一般社団法人日本ゴールボール協会

ガバナンス診断アンケート

1	あなたは、理事・監事に就任されて、現在何期目ですか？	19	あなたは、所属団体における監事の役割について説明を受けたことがありますか。
2	あなたは、業務執行理事ですか。	20	あなたは、所属団体において監事が業務を遂行するにあたり、事務局から十分なサポートを受けていると思いますか。
3	あなたは、ガバナンスについて理解していますか。	21	あなたの所属団体では、危機管理や不祥事対応を図るための体制が構築されていますか。
4	理事会構成メンバーは、ガバナンスを確立することの重要性を理解していると思いますか。	22	(No.23で①の場合)理事会構成メンバーは、その内容を認識していると思いますか。
5	あなたは、これまでの理事会運営において、団体ガバナンスの観点から疑念を抱くことがありましたか。	23	あなたは、所属団体における不祥事対応について説明を受けたことがありますか。
6	あなたの所属団体では、理事会運営、意思決定の仕方を定めた規程・ルールが作成されていますか。	24	あなたは、所属団体で不祥事が発生した際、一部の業務執行役員や事務局長の中だけにとどまらず、理事会構成メンバーに適時適切に最新情報が共有されていると思いますか。
7	(No.6で①の場合)理事会構成メンバーは、その内容を理解していると思いますか。	25	あなたの所属団体では、何が利益相反となるかについて指針(ポリシー)が作成されていますか(倫理規程、コンプライアンス規程等において利益相反の定義が定められている場合も含む)。
8	(No.6で①の場合)あなたは、理事会が規程・ルールに基づき適切に運営されていると思いますか。	26	(No.27で①の場合)理事会構成メンバーは、その内容を理解していると思いますか。
9	あなたは、理事の役割分担や責任の範囲が明確になっていると思いますか。	27	あなたの所属団体では、利益相反取引*を行う際の、明確な規程・ルールが作成されていますか。
10	あなたは、理事の役割分担や責任の範囲について説明を受けたことがありますか。	28	(No.29で①の場合)理事会構成メンバーは、その内容を理解していると思いますか。
11	あなたは、各理事が必要に応じて提起する議題が、理事会の議事に適切に反映されていると思いますか。	29	あなたは、所属団体における利益相反管理について説明を受けたことがありますか。
12	あなたは、理事会において法人の運営状況や課題を把握するうえで必要な情報や資料が適時提供されていると思いますか。	30	あなたは、所属団体において利益相反取引を行う際、規程・ルールに沿って適切に意思決定がされていると思いますか。
13	あなたは、所属団体の理事会において、各議題に対して十分な議論時間が確保されていると思いますか。	31	あなたは、所属団体において重要な契約を行う際、理事会での十分な審議や詳細な報告等、客観性・透明性につき、慎重な検討が行われていると思いますか。
14	あなたの所属団体では、理事会議事録は適切に作成・保管され、理事・監事が必要な際に閲覧可能となっていますか。	32	あなたの所属団体では、役職員等の構成員が適用対象となる法令を遵守するために必要な規程が作成されていますか。
15	あなたは、常務理事会構成メンバー(業務執行理事等)と、それ以外の理事会構成メンバーが、中長期的な視点にたって、遠慮や忖度なく、多様な視点で法人運営の方針や課題について議論がなされていると思いますか。	33	(No.34で①の場合)理事会構成メンバーは、その規程に基づく監督の役割を十分に果たしていると思いますか。
16	あなたは、所属団体に著しい損害を及ぼすおそれのある事実があることを発見したとき、誰に報告しますか。	34	あなたの所属団体では、理事会構成メンバー向けのコンプライアンス研修が定期的に行われていますか。
17	理事会構成メンバーは、監事の「会計」監査の役割を理解していると思いますか。	35	(No.36で①の場合)あなたは、その研修に参加していますか。
18	理事会構成メンバーは、監事の「業務」監査の役割を理解していると思いますか。		

- 回答は全て選択式。
- 個人情報の入力なし。

コンプライアンス診断アンケート (競技者・指導者用)

Q1	あなたは、直近6か月以内で、あなたの所属する代表チームおよび関連する活動中に物理的な暴力行為（体罰含む）を行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。	Q8	あなたの所属する代表チームにはハラスメントにつながりそうな状況や雰囲気がありますか。
Q2	あなたは、直近6か月以内で、あなたの所属する代表チームおよび関連する活動中に暴言（例：人格・存在の否定、「無能」などの侮辱、名誉やプライドを傷つける言葉等）を行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。	Q9	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。
		Q10	あなたが所属する代表チームには異性の競技者、指導者及び関係者が、指導等の必要性なく二人きりになるような状況がありますか。
Q3	あなたの所属する代表チームには、暴力につながりそうな状況や雰囲気がありますか。	Q11	あなたは、直近6か月以内で、あなたの所属する代表チーム内の人がドーピング違反（例：禁止物質・禁止方法の使用、ドーピング検査の拒否・妨害、居場所情報の提出拒否又は提出忘れ（複数回）、指導者・トレーナー等が競技者に禁止物質・禁止方法を使用すること又は使用を企てること等）をしているのを見聞きしましたか。
Q4	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。		
Q5	あなたの所属する代表チームには、時にはある程度の暴力（手をあげる、暴言をはく等）は競技力向上のためには致し方なしという考え方や雰囲気がありますか。	Q12	あなたの所属する代表チームでは、記録を伸ばしたり勝利することのためには、現行ルール上明確に禁止が明記されたり罰則が決められている以外の方法は、多少危険かなと思っても手段を選ばず使えば良いのだという雰囲気がありますか。
Q6	あなたの所属する代表チームには競技者のパフォーマンスが伸びないことによるプレッシャーやイライラ感が暴力（手をあげる、暴言をはく等）につながるような雰囲気がありますか。	Q13	直近6か月以内で、反社会的勢力と疑われる組織や人物（暴力団等）からあなたや、あなたの所属する代表チームの他の競技者、監督・コーチ等に対して何らかの接触があったり、そのようなことを見聞きしたりしましたか。
Q7	あなたは、直近6か月以内で、あなたが所属する代表チームおよび関連する活動中にハラスメントを行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。	Q14	あなたの所属する代表チームには社会的なルールやモラル等に反する行動（賭博や大麻等薬物の使用を含む）が許される状況や文化がありますか。

- 回答は全て選択式。
- 個人情報の入力なし。

コンプライアンス診断アンケート (事務局員用)

Q1	あなたは、直近6カ月以内で、あなたに与えられている業務量についてどのように感じていますか。	Q8	あなたは業務の一環として、代表チームの競技現場に行くことがありますか。
Q2	所属団体では規程等や行動規範よりも慣行が優先される場面が多いですか。	Q9	所属団体代表チームの競技現場には、ハラスメントや暴力につながりそうな状況や雰囲気がありますか。
Q3	あなたは、直近6カ月以内で、理事や上司からの指示により、法令に反していたり、文書で定められた事項（以下で「規程等」という。）に反した事務処理等を行いましたか。（複数回答可）	Q10	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。（複数回答可） （Q9で「ある」「どちらかといえばある」のいずれかにチェックをした方のみご回答ください）
Q4	理事や上司、競技現場から、規程等に照らして無理な事務処理の要求が許容される状況や文化があると思いますか。	Q11	所属団体の事務局内には、ハラスメントや暴力につながりそうな状況や雰囲気がありますか。
Q5	所属団体の事務局では、事務処理に関して相互点検の仕組みがありますか。	Q12	その状況や雰囲気はどの場面で多く見られますか。（複数回答可） （Q11で「ある」「どちらかといえばある」のいずれかにチェックをした方のみご回答ください）
Q6	あなたは所属団体の服務規程や倫理規程を理解していますか。（これらの規程により禁止されている事項を理解していますか。）	Q13	直近6カ月以内で、反社会的勢力と疑われる組織や人物（暴力団等）からあなたや所属団体内の他の人に対して何らかの接触があったり、そのようなことを見聞きしたりしましたか。（複数回答可）
Q7	あなたは、直近3カ月以内で、業務に関連してハラスメントを行ったり、受けたり、見聞きしたりしましたか。（複数回答可）		

- 回答は全て選択式。
- 個人情報の入力なし。

中央競技団体のガバナンス・コンプライアンス診断 対象団体の選定方針

コンプライアンス診断

1. オリンピック・パラリンピック競技のNFであること
2. 個人競技・団体競技・夏季競技・冬季競技のそれぞれが対象に選定すること
3. JSCからの助成金交付額
4. 競技成績(メダルポテンシャルアスリート)

※上記の条件を掛け合わせ、上位の団体から対象に選定

ガバナンス診断

1. 統括団体が実施する適合性審査を通過した団体を対象とする
2. 適合性審査の翌年度に、対象団体を以下の要領で層化抽出
 - 公益認定の有無を縦軸、資産額の中央値*を横軸に設定し、対象団体を4グループに分類
 - 各グループから無作為抽出

*資産額はJSPO/JOC/JPC加盟NFの最新決算資料(公開情報)から算出

(有) 公益 認定	1	2
	3	4
(無)		
	中央値未満	中央値以上

スポーツガバナンスウェブサイト運用実績報告

登録団体数: 2,207

<内訳>

一般スポーツ団体: 2,087

中央競技団体 : 120

※3月13日時点で公開済みの団体数

※前年度比**11.8%増加**(2023年3月末時点の登録団体数:1,973)

スポーツガバナンスウェブサイト概要

- スポーツ団体の「スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>」に基づく自己説明・公表を促進することを目的に構築されたウェブサイト。2021年3月運用開始。
- 24時間365日、無料で利用可能。
- 利用団体は団体IDを取得し、団体基礎情報(団体名、法人格、所在地、実施競技等)とともに、自団体の自己説明を登録し、公開する。
- 各団体が登録した情報は、メールアドレス等の個人情報を除き、全て公開され、閲覧・検索可能。

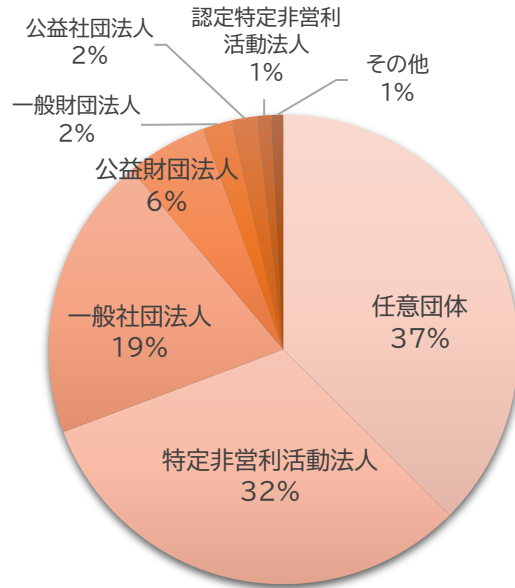
<https://www.sg-web.jpnsport.go.jp/sgw/Top>

The screenshot shows the JAPAN SPORT COUNCIL website interface. At the top, there is a navigation bar with 'JAPAN SPORT COUNCIL' and a 'ログイン' (Login) button. Below the navigation bar, there is a section titled 'このウェブサイトについて' (About this website) and 'スポーツ団体の方へ' (For sports organizations), followed by '閲覧者の方へ' (For visitors). The main content area features a search form with fields for '団体名称' (Organization name), 'コード区分' (Code category), '競技名' (Sport name), '団体所在地' (Organization location), '都道府県' (Prefecture), '市区町村' (City/Town/Village), and '加盟団体' (Affiliated organization). Below the form are buttons for '検索' (Search) and '条件クリア' (Clear conditions). At the bottom, there is a table listing registered organizations with columns for '団体名称' (Organization name), '法人区分' (Legal status), '都道府県' (Prefecture), '市区町村' (City/Town/Village), and '最終更新日' (Last updated date).

団体名称	法人区分	都道府県	市区町村	最終更新日
日本オリンピック委員会	特定非営利活動法人	鹿児島県	鹿児島市	2021/04/07
日本サッカー協会	一般社団法人	埼玉県	さいたま市	2021/04/06
特定非営利活動法人日本ラグビーフットボール協会	特定非営利活動法人	鳥取県	安来市	2021/04/05
日本学生体育協会	特定非営利活動法人	東京都	港区	2021/04/03
日本レスリング協会	一般社団法人	神奈川県	横浜市	2021/04/01
日本レスリング協会	公益財団法人	愛知県	名古屋市	2021/04/01
日本レスリング協会	任意団体	茨城県	仙台市	2021/04/01

スポーツガバナンスウェブサイト登録団体統計情報 (一般スポーツ団体)

1. 法人格別内訳



2. 登録団体所在地 (登録団体数上位都道府県)

1 東京都	228	11.2%
2 兵庫県	106	5.2%
3 神奈川県	99	4.8%
4 北海道	97	4.7%
5 山形県	90	4.4%
6 岐阜県	80	3.9%
7 愛知県	79	3.9%
8 秋田県	69	3.4%
9 大阪府	64	3.1%
9 福岡県	64	3.1%
11 福島県	55	2.7%
12 埼玉県	53	2.6%

3. 登録団体実施競技 Top15

1 サッカー	720	41.8%
2 バドミントン	584	33.9%
3 卓球	545	31.6%
4 バレーボール	438	25.4%
5 バスケットボール	425	24.7%
5 陸上競技	425	24.7%
7 テニス	369	21.4%
8 ダンス	338	19.6%
9 グラウンド・ゴルフ	310	18.0%
10 体操	285	16.5%
11 ソフトテニス	271	15.7%
12 太極拳	237	13.8%
13 ヨガ	236	13.7%
14 軟式野球	235	13.6%
15 剣道	206	12.0%

4. 下部団体数

10未満	235	36.2%
10以上、30未満	172	26.5%
30以上、100未満	157	24.2%
100以上	85	13.1%
※回答団体数	649	31.1%

5. 登録競技者数

100人未満	343	25.1%
100人以上、500人未満	632	46.3%
500人以上、1,000人未満	153	11.2%
1,000人以上、3,000人未満	105	7.7%
3,000人以上、10,000人未満	69	5.1%
10,000人以上	63	4.6%
※回答団体数	1,365	65.4%

6. 役員及び職員の合計

10人未満	450	29.3%
10人以上、20人未満	620	40.4%
20人以上、50人未満	339	22.1%
50人以上、100人未満	72	4.7%
100人以上	55	3.6%
※回答団体数	1,536	73.6%